

明日へつながる統計

国勢調査にご協力を

日本に住む全ての人を対象に、全国一斉に実施される国勢調査。調査の結果は、行政や経済施策の基礎資料として活用されます。正確な統計データを得るために、皆様のご協力をお願いします。

インターネット回答期限 10月7日(水)

調査票での回答期間 10月1日(木)～7日(水)

回答はインターネットで

インターネットを活用することで、素早く簡単に回答することができます。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためにも、できる限りインターネットでの回答をお願いします。

用意する物=パソコンまたはスマートフォン・タブレット、配布された調査書類(調査票の記入のしかた・インターネット回答利用ガイド)



調査票の記入のしかた



インターネット回答利用ガイド

24時間回答可能

パソコンまたはスマートフォン・タブレットからいつでも回答することができます。回答時間は10分程度です。



入力漏れの心配なし

チェック機能があるので入力漏れの心配はありません。また、回答期間内は、パスワードを入力することで内容の修正が簡単にできます。



専用サイトへのアクセス方法

右記の二次元バーコードまたは国勢調査ホームページ(<https://www.e-kokusei.go.jp/html/portal/ja/top.html>)からアクセスできます。



調査書類が配布されます

国勢調査とは

国勢調査は、日本に住む全ての人を対象に、5年に1度行われる国の最も重要な統計調査です。10月1日を基準日として、人口、世帯、就業者からみた産業構造などの状況を明らかにするために行われます。

生活に役立つ基礎資料に

国勢調査では、性別・年代別・地域別など、さまざまな実態に関する統計データを得ることができます。調査の結果は、介護、福祉、医

療、防災計画など、国や地方自治体の施策立案のほか、学術研究や民間での活用など、多くの分野で役立てられる基礎資料になります。

国勢調査員が訪問します

国勢調査員が各世帯を訪問して、ログインIDや調査票などの調査書類を配布します。調査員は国勢調査員証を携帯し、腕章を着けて訪問します。

世帯の全員を調査する必要があるので、配布する際に、調査員が世帯主の氏名と世帯の人数を伺いますので、ご協力をお願いします。

配布期間 9月14日(月)～30日(水)
回答期限 10月7日(水)
回答方法

○パソコンやスマートフォンなどを使って、調査書類に記載されている専用サイトから回答

○10月1日以降に調査票を郵送または調査員が直接回収。調査員による回収を希望する場合は成田市国勢調査コールセンター(☎20・1746)に連絡してください

新型コロナウイルス感染症対策
感染防止のため、調査書類の配布は郵便受けを利用し、調査の説

明はインターネット越しで行うなど、できる限り対面しない方法で訪問します。

個人情報の保護

統計法では、調査に関わる全ての人に対し、知り得た内容についての守秘義務や調査票の取り扱い方法を厳格に規定しています。回答した内容は、国や地方自治体で適切に管理されます。

インターネットでの回答についても嚴重なセキュリティ対策がとられていますので、個人情報が漏れることはありません。

インターネットでの回答方法

①ログイン

インターネット回答利用ガイドに記載されているログインID・アクセスキーを半角で入力してください。

インターネット回答利用ガイド
ログインID・アクセスキーの例

ログイン ID (Login ID)
abcd - 1234 (8ケタ)
アクセスキー (Access Key)
wxyz (4ケタ)
0168731ATS1K0843341#

回答画面

ログイン
ログインIDを入力してください。ログインIDは、お配りしている「インターネット回答利用ガイド」に記載されています。
操作にあたって +
ログインID (半角) (必須)
abcd - 1234
次へ

アクセスキー (半角) (必須)
wxyz
キャンセル ログイン
アクセスキーはお配りしている「インターネット回答利用ガイド」に記載されています。

②回答

設問は、性別、生年月日、就業状態、住居の種類など、全部で16問です。回答画面に詳しい説明が表示されるため、簡単に入力することができます。

【入力に当たっての注意】

○5年前に住んでいたところ

5年前の調査で回答した住所と現住所が違う場合は5年前に住んでいた市区町村を選択してください

○勤め先・業主

選択する際には「調査票の記入のしかた」の10～15ページを参照してください

成田 太郎さん(42歳)
 現在と同じ場所
 同じ市町村内の他の場所
 他の市区町村 外国
都道府県
市郡 (50音順)
区町村 (50音順)

15 勤め先・業主などの住所及び事業の内容
16 本人の仕事の内容

国勢調査を装った詐欺に注意

国勢調査が行われると、調査員を装った訪問者や電話・メールによる詐欺が多くなります。下記の内容を確認して被害に遭わないようにしましょう。

○調査員証を確認

国勢調査の調査員は、顔写真付きの調査員証を携帯しています

○回答は紙の調査票または専用サイトのみ

調査員が電話やメールで回答を求めることはありません

○調査項目に注意

預金額や収入に関する調査項目はありません。また、調査員が金品を要求したり、口座やクレジットカードの番号を尋ねたりすることはありません

○調査票は郵送か調査員が直接回収

記入が済んだ調査票は郵送するか、希望する場合は調査員が回収に伺います。共同住宅などに「調査票の回収箱」などが設置されていても利用しないでください

第1回の国勢調査から100年



日本近代統計の祖 杉 亨二



第1回の国勢調査が行われたのは大正9(1920)年。それまでは戸籍に基づく人口の調査が行われていたが、数値は不正確なものであり、人口構造を明らかにするという点では不満足なものであった。

明治の初め、正確な調査の必要性を訴えたのが、のちに日本近代統計の祖といわれる杉亨二であった。翻訳の仕事をする中でヨーロッパの統計調査に触れた亨二は、行政の基礎となる重要なものであるとして、政府に統計機構の拡大を要望した。そして明治4(1871)年、太政官正院政表課大主記(現在の総務省統計局長)を命じられ、日本の総人口の調査の実施を目指した。同12年に国勢調査の先駆けとして「かいのくにげんざいにんべつしよべ甲斐国現在人別調」を行ったが、全国的な調査の実施は政府から予算の都合により困難であるとされ実現はしなかった。同18年、亨二は官職を辞し、以後は民間で統計学の普及に努めた。

明治27年、日本はスイスの万国統計協会から世界人口センサスへの参加が求められた。参加するためには、全国的な統計調査を行っている欧米各国と比較できる調査結果が必要であり、調査の実施に向けて、亨二が設立した東京統計協会などが精力的に運動を行った。

亨二らの運動が実を結び、明治35年に「国勢調査ニ関スル法律」が定められた。3年後に国勢調査が実施される予定となったが、日露戦争や第一次世界大戦が起きたことで、大幅に遅れることとなった。

法律の制定から15年後の大正6(1917)年、当時の内閣統計局長らの尽力により、同9年に国勢調査の実施が衆議院で可決された。国勢調査の実施に人生をかけた亨二は、国勢調査の予算案が公表された同6年12月4日に90歳でその生涯を閉じた。

時の総理大臣・原敬の日記には、第1回の国勢調査が無事に行われたことが記されている。

参考：国勢調査100年のあゆみ (<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/ayumi>)

③パスワードを入力

全ての設問に回答したら、回答データを保護するためパスワード(半角英数字を組み合わせ8文字以上)を設定します。回答内容を修正するときに必要になるので、忘れないようにしてください。パスワードを入力したら「送信」ボタンを押してください。

パスワードの入力例

パスワード (必須)
narita760

パスワード (確認用) (必須)
narita760

パスワードを表示する

④回答が完了したことを確認

下の画面が出たら回答完了です。画面が出る前に終了すると、入力したデータが消えてしまいますので、注意してください。

国勢調査の回答完了

令和2年国勢調査の回答を受け付けました。
これでインターネット回答は終了です。
ご回答ありがとうございました。

ログインID	XXXX XXXX
受付日時	令和2年xx月xx日 xx時xx分

- 10月1日(木)までに世帯員の異動など回答内容に変更が生じた場合には再度ログインしていただき、修正をお願いします。なお、回答内容の修正は、10月7日(水)まで可能です。

※くわしくは成田市国勢調査コールセンター(☎20-1746)へ。